

東北文化研究所主催 学術講演会

フィールドワークの

匠を目指して

先人の記録を整理・理解し、次代へ繋ぐこと

撮影 廣田千恵子

受講無料 | 申込不要

直接会場にお越しください

平成30年11月21日(水) 18:00~20:00

**東北学院大学土樋キャンパス
ホーイ記念館ホール**

こなが ゆき
講師／小長谷有紀 国立民族学博物館・超域フィールド科学研究部・教授

私たちは、子供の頃からフォーマルな教育の場では、基本的にあらかじめ正解が用意されたことについて学ぶ。一方、人生は、基本的に正解など全く用意されていないものである。フィールドワークもまた、理系であれ文系であれ、正解のない課題に取り組むものであるから、それは人生の擬似練習であると言えよう。驚くような、しかし誰もができるような、匠の技を盗んで、フィールドワークの達人になろう。アーカイブズ整理の過程で了解することのできた、梅棹忠夫らのモンゴルなどでのフィールドワークと、筆者自身のそれとを比較しながら紹介する。

小長谷有紀氏プロフィール／

大阪府生まれ、京都大学文学部助手を経て1987年より国立民族学博物館にてモンゴル研究に従事。専門は文化人類学、とくにモンゴル・中央アジアの遊牧文化。2011年国立民族学博物館での特別展「ウメサオタダオ展」の実行委員長を務める。『人類学者は草原に育つ：変貌するモンゴルとともに』（臨川書店 2014年）、『ウメサオタダオが語る、梅棹忠夫：アーカイブズの山を登る』（ミネルヴァ書房 2017年）ほか著書多数。2013年紫綬褒章受章。

主催／東北学院大学 東北文化研究所

問合せ／東北学院大学 研究機関事務課 TEL.022-264-6430 FAX.022-264-6530 E-mail k-soken@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

